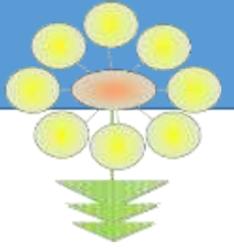


第2次 彦根市多文化共生推進プラン【概要版】

計画期間：2021年度(令和3年度)から2025年度(令和7年度)まで

基本理念：「ともにいきいきと暮らせるまち ひこね」

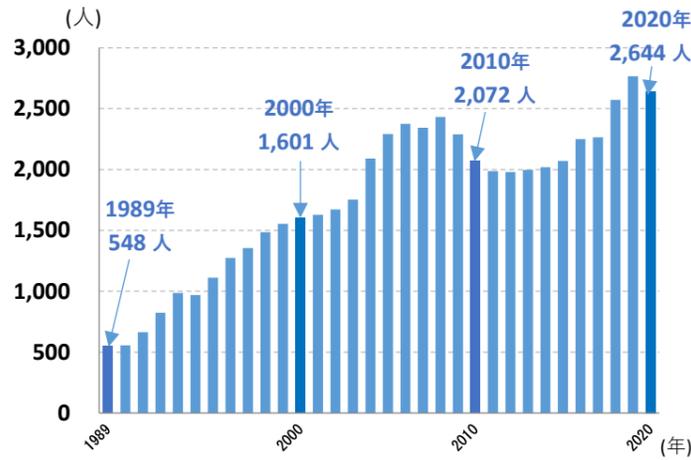
ともに … すべての市民がお互いを尊重し合う関係
いきいきと … 一人ひとりの個性が発揮される



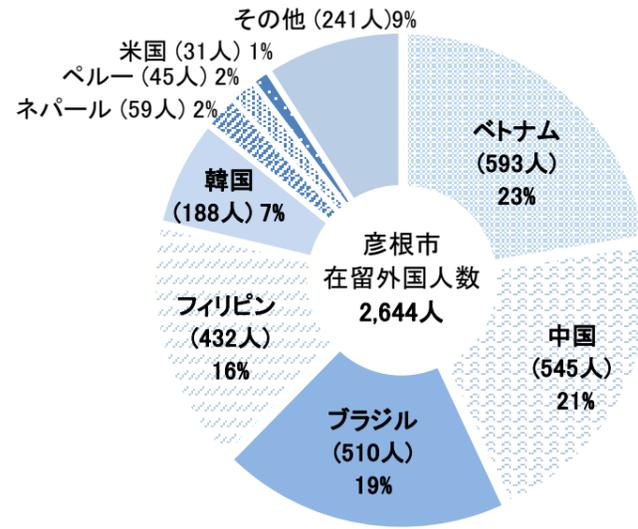
彦根市では、彦根市多文化共生推進プランを策定するにあたって、「市民一人ひとりがお互いの立場や文化的背景を認め、対等な関係で支えあう地域づくり」を目的としています。

そのためには、外国人住民に必要な支援をするとともに、すべての市民が多文化共生の当事者であることを自覚して、主体的に関わっていくことが求められます。

◆彦根市の現状(毎年9月末現在)



在留外国人数の推移(毎年9月末現在)

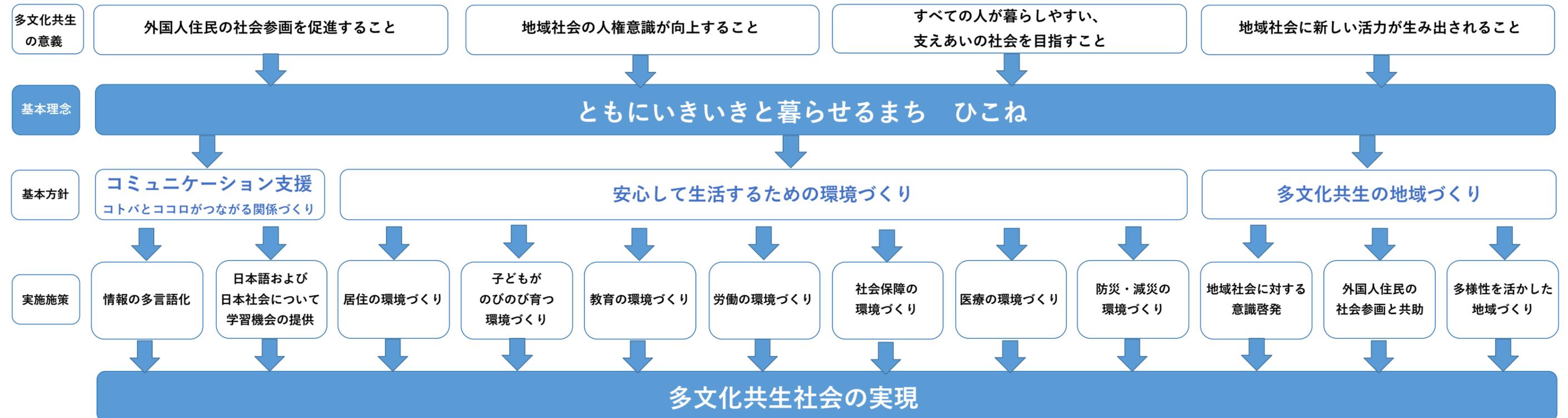


国籍別(2020年9月末現在)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けましたが、2020年9月末現在、外国人住民比率は2.35%です。

2020年9月現在、在留外国人数を国籍別にみると、ベトナム、中国、ブラジル、フィリピン、韓国の順となっています。

◆プランの体系



◆主な施策等

コミュニケーション支援(コトバとココロがつながる関係づくり)

- ・市の各窓口において、多言語などによる情報提供を行うとともに、市のホームページやSNSなどを活用して、多言語に翻訳された行政情報や案内などを広く発信します。
- ・外国人住民モニター会議を開催します。
- ・外国人住民向けに相談窓口を設置します。
- ・日本語ボランティアや市民団体による日本語教室の定期的、継続的な開催を充実させるために必要な支援を行います。

安心して生活するための環境づくり

- ・住宅・入居に関する情報を多言語化し、提供します。
- ・各種窓口との連携により外国人住民の孤立防止を図るほか、子育てに関する情報を多言語化します。
- ・外国にルーツを持つ児童・生徒等に日本語指導や母語によるサポートなどを行います。
- ・労働や社会保障制度に関する情報を必要に応じて多言語に翻訳し、提供します。
- ・ひとり親家庭・障害者・高齢者に関する申請書や通知などを必要に応じて多言語に翻訳します。
- ・市立病院に医療通訳員(ポルトガル語)を配置します。
- ・外国人住民が、災害時に適切に対応できるよう、多言語による情報提供を推進します。

多文化共生の地域づくり

- ・外国人住民と日本人住民との相互理解のための取組を実践します。
- ・多文化共生サポーターを広く募集し、サポーターの連携によって、諸分野の活動を推進します。
- ・自治会や地域活動に関する情報を必要に応じて多言語に翻訳します。